

製品安全データシート

1 製品情報及び会社情報

製品名 エアセルマット帯電防止タイプ (ピンク)

会社名 関西和泉株式会社

本社所在地 〒675-1112 兵庫県加古郡稲美町六分一 477-1

担当部門 〒675-1112 兵庫県加古郡稲美町六分一 477-1

電話番号 079-492-6500

FAX 番号 079-492-2556

作成 2008年8月25日

改定 2015年8月27日

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発燃性化学品	: 分類対象外
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類対象外
急性毒性（経皮）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	: 分類対象外
眼に対する重篤な損傷及び刺激性	: 分類対象外
呼吸器感作性	: 分類対象外
皮膚感作性	: 分類対象外
生殖細胞変異原性	: 分類対象外
発がん性	: 分類対象外
生殖毒性	: 分類対象外
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 分類対象外
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 分類対象外
吸引性呼吸器有害性	: 分類対象外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	: 分類対象外
水生環境慢性有害性	: 分類対象外

GHS ラベル要素	: 該当なし
GHS 分類に該当しない他の危険有害性	: 特になし
重要な徴候	: 特になし
想定される非常事態の概要	: 特になし
国/地域情報	: 適用法令を参照

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名	: ポリエチレン : グリセリン脂肪酸エステル混合物
化学式	: $(-CH_2-CH_2-)_n$ ポリエチレン : $C_{21}H_{42}O_4$ グリセリン脂肪酸エステル混合物
官報公示整理番号	: (6) -1 ポリエチレン : (2) -669 グリセリン脂肪酸エステル混合物

CAS 番号 : 9002-88-4 ポリエチレン
: 123-94-4 グリセリン脂肪酸エステル混合物

危険有害成分の有無

RoHS 指令 6 物質なし。

PRTR 法にて届け出が必要な物質の使用なし。

平成 21 年 10 月 1 日施行「特定化学物質の環境への把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令の一部を改正する法令（以下改正法令という）」を見直したが、対象物質はありませんでした。

4 応急措置

目に入った場合 : 水で洗浄する。異物感が、残る場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 必要に応じて水で洗う。
溶融物が付着した場合には、素早く大量の水をかけ冷却し通常火傷同様の処置をする。

吸引した場合 : 固形物であり該当しない。
但し、高温の溶解物から発生するガスを大量に吸引した場合は、直ちに体を毛布等で包んで安静にさせ、新鮮な空気のところへ移し、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 生理学的には不活性であるが、異常を感じるようであれば、出来るだけはかせ、医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火方法 : 通常の固体可燃物と同様、大量の水、消化剤を使用し、消化する。尚、火災時、熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素等を発生する恐れがあるので、防毒マスクを着用して消化にあたる。

消化剤 : 大量の水、泡消火剤、粉末消火剤

6 漏出時の措置

: 掃き集め回収する。
: 排水系などの水面に漏出した場合、鳥類、魚類等への悪影響もあるので全て回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : ①固形であり常温では引火、爆発の恐れはないが、多くの有機化合物と同様、所定の条件で燃焼するので、作業所ではみだりに火気を使用しない。
- ②加工・成型作業時、臭気や粉塵が発生する可能性があるため、必要に応じて局所排気装置をつける。
- ③溶解物が皮膚に触れると火傷をおこす場合があるので、保護手袋等の保護具を使用する。
- ④重量物を包装して長時間保管すると、緩衝機能が低下する可能性があるため避ける。
- ⑤包装物に転倒、落下などの衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な扱いをすると、マットが破損するおそれがあるので注意する。

- 保管 : ①変質、異物混入防止の為、直射日光、高温、低温、高湿、屋外保管は避ける。
- ②屋内の場合、白熱灯、水銀灯などの高温や強い紫外線を出す照明の近くの保管は避ける。
- ③荷崩れ・破袋防止の為、積みすぎは避ける。
- ④熱、火災、火気及び静電気蓄積を避ける。
尚、消防法の指定可燃物に該当する。

8 暴露防止措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 設備対策 : 加工、成型作業時、揮発分や臭気が発生する恐れがあるので、必要に応じて局所排気設備をつける。
- 保護具 : 必要に応じて着用する。

9 物理・化学的性質

- 外観等 : 気泡状突出部を有するシート
- 融点 : 112°C～115°C
- 密度 : 0.88～0.95 (原料)
- 溶解度 : 水に不溶

10 安全性及び反応性

引火点	:	200℃以上
発火点	:	350℃以上
可燃性	:	あり（消防法 指定可燃物）
自然発火性	:	なし
酸化性	:	なし
自己反応性、爆発性	:	なし
粉じん爆発性	:	なし
安定性、反応性	:	一般的な貯蔵、取り扱いにおいて安定である。

11 有害性情報

皮膚腐食性	:	なし
刺激性	:	なし
急性毒性	:	特に知見なし（ポリエチレン原料について）
慢性毒性	:	データなし
癌原性	:	IARC のグループ 3（人に対して発癌性は評価できない）
生殖細胞変異原性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
催奇形性	:	データなし

12 環境影響情報 : データはないが魚類、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

13 廃棄上の注意

[廃棄物の処理及び清掃に関する法律]等に従って処理、廃棄する。
細部については、各地方自治体で定められた条例に従って処理する。

14 輸送上の注意

着火源のない風通しの良い場所で荷役作業を行う。
積荷の近くは火気厳禁とする。
また、梱包袋が破れないよう乱暴な取扱いを避ける。
汚れ、水濡れに注意する。

15 適用法令

- 消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg以上)
- 食品衛生法 : 器具、容器包装の規格試験 厚生省告示第370号
- PRTR法の該当物質 : 平成21年10月1日施行「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の催促に関する法律施行令の一部を改正する政令(以下改正政令という)」を見直したが対象物質はありませんでした。

記載内容の取り扱い

記載内容は、現時点で入手出来る資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊の取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。